

主 管	DPSV016T-002-OPT (M) 仕様書	頁
開発センター		1 / 3

1. 適用

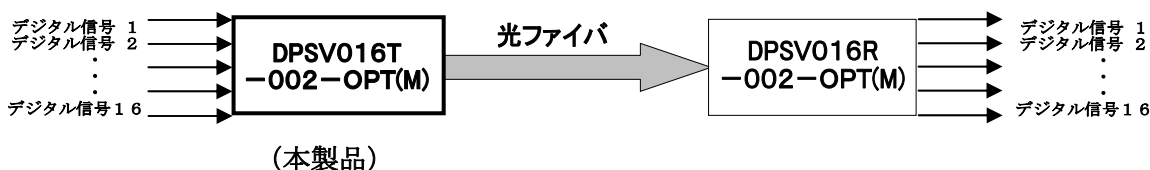
本仕様書は、デジタル信号用光変換送信モジュール DPSV016T-002-OPT (M) に適用する。

2. 外形

DPSV016T-002-OPT (M) (外形図) による。

3. 概要及びシステム構成

本製品は、本製品と DPSV016R-002-OPT (M) 及び光ファイバを用い、図 1 の様な構成をとる事により、16 点の ON-OFF 信号・デジタル信号を光ファイバで通信する事を可能にする。



<図 1 16 点デジタル信号の光通信システム構成例>

4. 主な仕様

項目	DPSV016T-002-OPT (M)
適合光ファイバ	MMF(マルチモードファイバ) (GI 50/125・62.5/125)
適合光コネクタ	FC 型 (JIS C 5970 F01)
伝送距離	0.3~3,000m ※1
光変調方式	直接強度変調
信号変調方式	時分割多重変調
対応信号数	16
光信号伝送速度	22.2Mbps
伝送遅延(最小)	1.62μ秒
重量	54g

※1 : 光ファイバ損失を-3dB/kmとした時の値となります。

5. 絶対最大定格

項目	記号	値	単位	備考
電源電圧	V _{CC}	-0.5~7.0	V	
入力電圧	V _{IN}	-0.5~V _{CC} +0.5	V	

6. 環境条件

項目	記号	値	単位	備考
保存温度	T _{STG}	-40~85	℃	結露なき事
使用温度	T _{OPR}	0~70	℃	結露なき事

主 管	DPSV016T-002-OPT (M) 仕様書	頁
開発センター		2 / 3

7. 推奨動作条件及び同条件での DC 特性

項目	記号	Min.	Typ.	Max.	単位
電源電圧	V_{CC}	4.75	5	5.25	V
H レベル入力電圧	V_{IH}	2.4	—	$V_{CC}+0.5$	V
L レベル入力電圧	V_{IL}	0	—	0.4	V

8. 電気的特性

項目	記号	条件	値(最大値)	単位
消費電流	I_{CC}	$V_{CC}=5V$	170	mA
Hレベル入力電流	I_{IH}	$V_{CC}=5V$	4	mA

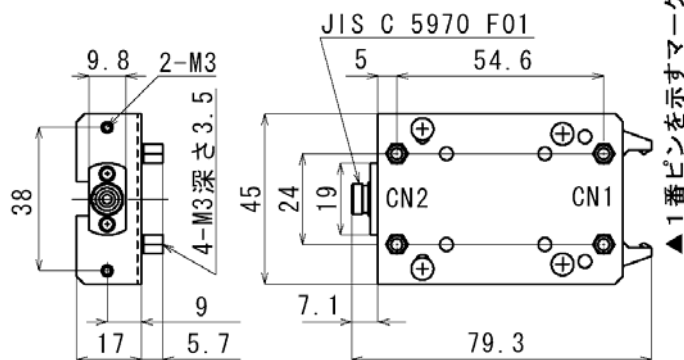
9. 光学的仕様

項目	記号	条件	最小	標準	最大	単位
ファイバ結合光出力	P_f	$V_{CC}=5V$	-18	—	-16	dBm
ピーク発光波長	λ_p	—	850	880	—	nm

10. 端子配置

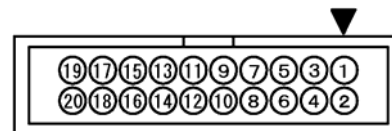
CN2 (適合コネクタ F01)

記号	説明
P _{OUT}	光信号出力



CN1 (適合コネクタ:MIL規格 20芯メスコンタクト)

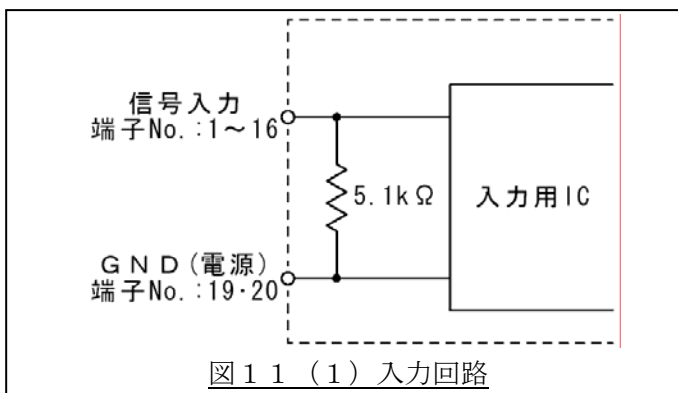
端子 No.	チャンネル No.	説明
1・2	1・2	データ入力
3・4	3・4	
5・6	5・6	
7・8	7・8	
9・10	9・10	
11・12	11・12	
13・14	13・14	
15・16	15・16	
17・18	—	DC5V
19・20	—	GND



1 1. 使用について

(1) 入力回路

入力端子は GND に対し、
5.1kΩ でプルダウンした
形となっています。
入力用 IC へは、TTL レベル
互換入力となります。

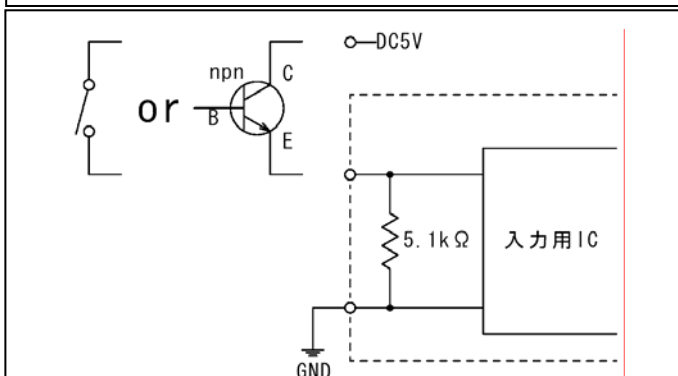


(2) 外部からの接続(例)

①無入力時 L、入力時 H の場合

トランジスタのエミッタ側を
入力とする場合、接点短絡時に
H レベルとして動作させる場合
には図 11(2)a のような接続と
なります。

接点入力の場合、本機への
入力に対しサージ対策を施して
下さい。

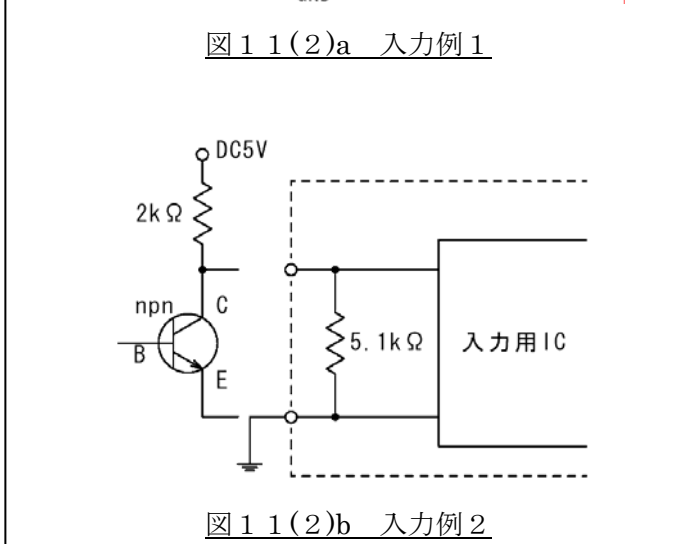


②無入力時 H、入力時 L の場合

トランジスタのコレクタ側を
入力とする場合、接点短絡時に
H レベルとして動作させる場合
には、図 11(2)b のような接続と
なります。

接点入力の場合、本機への
入力に対しサージ対策を施して
下さい。

また、対向機 DPSV016R-002
-OPT (M) からの出力も無入力時
H、入力時 L となりますので、
回路の動作論理にもお気をつけ
下さい。



1 2. 注意事項

本仕様は予告なしに変更されることがあります。最新の情報については弊社までお問い合わせ下さい。